


2020 ~ 2021 年度国際ロータリーのテーマ

ロータリーは機会の扉を開く

●会長 松本 一也
●幹事 福井 学

 No.1713 令和 02 年 10 月 07 日 第 13 回例会

※例会日 毎週水曜日 12:30~

※例会場 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内

※事務所 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内 TEL 354-4521 FAX 354-4053

※ URL <http://www.serc2720.org> ※ email serc@serc2720.org

ロータリーは機会の扉を開く

■点鐘

■国歌斉唱「君が代」

■ロータリーソング「四つのテスト」

(ソングリーダー 古田 哲朗)

■熊本東南ロータリークラブソング「未来」

(ソングリーダー 古田 哲朗)

■ご来訪者紹介

(会長 松本 一也)

卓話者 米山奨学生 劉 宸江 君

米山奨学生カウンセラー 玉名中央RC 倉田國臣 様

玉名中央RC 茅畑孝篤 様

見学 武末直大 様、橋口華英 様

■今月の誕生日

【会員】

内田信行 10月19日

白石 繁 10月18日

松本一也 10月24日

山本浩之 10月 8日

出先教明 10月 7日

【配偶者】

松本照代 10月 8日

村瀬京子 10月 9日

山田文香 10月11日

山本真理子 10月13日

島村富美子 10月18日

中島聖子 10月22日



■第 4 回米山功労者表彰



沼田 敏雄 会員



■会長の時間

(会長 松本一也)

「リスク管理と危機管理」

リスク管理と危機管理について、皆さんもご存じとは思いますが、少し話をしてみたいと思います。

リスク管理とは、簡単に言えば「これから起こる可能性のある危機・危険に備えておくための活動」であり、想定されるあらゆるリスクを徹底的にリストアップして、実際発生するリスクの影響がどれほどであるかを事前に分析します。そして、それぞれのリスクについて発生を抑制するための方策を検討し、影響の度合いの大きさに従って優先順位をつけて、リスク防止策を実行します。つまり、リスク管理とは、万が一を想定して準備することです。

危機管理とは、簡単に言えば「すでに起こってしまったトラブルに関して、事態がそれ以上悪化しないように状況を管理すること」です。防げる危機であればその発生を防ぐことが望ましいのですが、自然災害や外部要因による人的災害や事故などの中には、自助努力で防ぎえないものも多くあります。危機管理においても、リスク管理と同様に、起こりうる危機やそれに伴うリスクをリストアップすることが必要となります。

しかし、危機管理の大きな特徴は、危機が発生したときに何をすればその災害や危機を最小化できるか、危機からの早期回復のためには何をすればよいかという事が、検討の中心になるということです。つまり、危機管理とは、何かが起こってからでの備えです。

先週の土曜日の、坂本村ボランティア活動を例にとれば、「リスク管理」としては、ボランティア活動中の事故、ケガ、病気等に備えなければなりません。

そこでまず、ボランティア保険等に参加する事、個人の体調の確認、後は作業中の事故を防ぐための、防塵マスク、防塵メガネ、作業用手袋、長靴、釘の踏み抜き防止用の申敷き、バンソウコウ、傷薬、常備薬等の準備、次に弁当、熱中症を防ぐための飲み物、塩飴等の持参です。

「危機管理」としては、当日は事故等もなく無事終了したのですが、強いて言えば事務局の白野さんが、倒れて膝を打って赤くなったくらいで、東南ロータリークラブのラインで見た方もいらっしゃるかもしれませんが、早速、内田おじいちゃんがバンソウコウを貼ってあげていました。持参したバンソウコウが役に立ちましたね。しかし、他にも具合が悪くなった場合、負傷して出血が止まらない場合、骨を折った場合、頭を打って転倒意識がない場合とか、病気や事故に備えた対処の方法を普段から考えておく必要があります。

もちろん、ロータリー第2720地区にも、2015年11月施行された「国際ロータリー第2720地区危機管理総則」及び「同危機管理委員会規定」があります。

その前文によると、「地域社会のリーダー的メンバーによつて構成されるロータリーには、常に高い道徳性と社会的責任が求められる。青少年と接する際の行動規範に関する声明は、青少年と活動するあらゆる状況でロータリアンが守るべき基本的な原則を規定した。その声明は、『国際最善を尽くす責任がある。』というものである。これに基づき危機管理の重要性を認識し、国際ロータリー第2720地区は、ロータリーの活動に関連して起こりうる危機に対し、率先してその社会的責任を全うする必要があるとの認識に基づき、ここにガバナー統括の下、第三者委員を含む危機管理委員会を設置し、ロータリーの信頼を高めるために地区の危機管理体制を確立するものとする。」としています。

この規定が制定された背景には、2004年RI大阪国際大会の「青少年交換役員会」における、スコットランドヤードのグールド警視の「現在、児童虐待で刑期を務めている人もいます。地区ガバナーも1人含まれています。さらに私が調査した結果、虐待が起こっていることは明らかです。」という発言から端を発していると思われまます。非常に悲しい事です。

ロータリー章典にもあるように、私たちは、ロータリアンとして、誠実・高潔であり、高い倫理性を常に保ち、1個人として社会人として行動することが必要であると考えます。

■幹事報告

(幹事 福井 学)



- 1)
熊本北RCより、第2回市域RC会長・幹事会の案内。
日時 令和2年11月5日(木) 15:00～
場所 熊本ホテルキャッスル 2階「キャッスルホール」
議題 (予定)
① 新春合同例会について
② サインメーキャップについて
③ 提案された議題について
④ その他

■委員会報告

((青少年奉仕担当 宮川義行))



ローターアクト9月第2例会が、9月29日20:00よりZoomで行われました。
熊本城東ローターアクトとの合同例会で、馬氷君の卓話を中心に行われました。城東ロータリーからも参加がありました。10月例会の予定は現在調整中です

■委員会報告(ロータリーの友紹介)

(会報・雑誌担当委員 沼田敏雄)



左側ページから…
P5 横書き

祝日本のロータリー 100周年!
米山梅吉氏が日本にロータリークラブ(東京クラブ)を誕生させてから、ついに2020年10月で100周年を迎えました。

昨年10月号から毎号その時代を象徴する写真を1回から12回まで紹介したのをこのP5に掲載されていますが、最終13回はP30に掲載されています。

P7～P11 横書き

2020年7月3日、4日未明にかけて、熊本豪雨が発生した事について、硯川昭一ガバナー他方々のボランティア活動について掲載されています。

P13 横書き

毎年10月は米山月間です。

米山記念奨学会のあゆみを年表で示してあります。

P34 横書き

ポリオ根絶に残された課題として掲載されています。

中央に書かれている残された課題

ポリオの感染が途絶えたことのない、アフガニスタンとパキスタンの2ヶ国における野生株ポリオウイルスの根絶です。下段には引き続き質の高い予防接種をキャンペーンを展開する…とあります。



■出席報告

(出席・プログラム担当 杉本整哉)

| 月日 | 会員数 | 出席者数 | MU | 修正出席者数 | 出席率(%) |
|--------|------------------|------|----|--------|--------|
| 09月23日 | 42 (免3) 39 | 34 | 2 | 36 | 92.31 |
| 10月07日 | 42 (免5) 37 | 35 | | | 89.74 |

☆出席免除

09月23日 住江正治 鷲山法雲 島村徹男

10月07日 住江正治 鷲山法雲 島村徹男

☆欠席者(3名)

09月23日 山坂哲生 山本浩之 川崎直樹

■スマイル報告

(親睦・スマイル担当委員 堀内健太郎)



◎宮川義行 7,000円

本日は米山奨学生 劉宸江さん、玉名中央R

C 倉田國臣さん、茅畑孝篤さん、見学の橋口華英さん、武末直大さんを歓迎いたします。

坂本町災害復旧ボランティアに参加された皆さん、ご苦労様でした。平均年齢60歳を越えたかどうか、水分補給は全て汗に変わりました。GoToキャンペーンで自由に国内旅行ができるようになったようですが、県外からのボランティア解禁は話題にも関わらず、被災地は置いてきぼりの状態です。今後も地元で出来る事を取り組んでいきたいですね。誰かぶどうの苗、いりませんか?

◎福井学 5,000円

本日は玉名中央RCより倉田様、茅畑様、両カウンセラーと米山奨学生 劉宸江君のご来訪を歓迎し卓話を楽しみにしています。

又、武末直大さんの見学を歓迎します。入会申込み有難うございます。

◎松本一也 5,000 円



米山奨学生の劉宸江君、カウンセラーの玉名中央RCの倉田國臣様、茅畑孝篤様、見学者の武末直大様、橋口華英様、ご来訪を歓迎します。

◎出先教明 5,000 円



今日で47歳になりました。会社の朝礼で父親にも感謝のことばを伝えました。1年間の無事を祈りスマイルします。

◎内田信行 5,000 円



10月3日ボランティア活動お疲れ様でした。翌日には家主の娘さんよりお礼のメッセージを頂き、行って良かったなと思いました。誕生祝有難うございました。いよいよ来年は70歳の誕生日を迎えることになります。爺の仲間入りです。最後に、武末様の入会を歓迎します。

◎前田日出夫 5,000 円



10月3日の八代市坂本町のボランティア活動に参加されたみなさん大変お疲れ様でした。当日は天気も良く、事故・ケガもなく、無事に活動できてよかったです。

◎永野昭一 5,000 円



結婚記念日のお祝いをいただきありがとうございます。熊本東南ロータリークラブの創立年に結婚しましたので、37年目です。まだかろうじて続いています。また、先日のボランティアに行かれた会員の皆様、大変ご苦労様でした。

◎村瀬直久 5,000 円



かみさんの誕生祝い、ありがとうございました。

◎松田和成 3,000 円



ボランティアに行かれた皆様、暑い中お疲れ様でした。

◎鈴木義親 3,000 円



先週の坂本町豪雨支援ボランティア奉仕活動ご苦労様でした。感謝いたしております。又、本日入会予定の武末直大様の入会前の例会出席ご苦労様です。心待ちにしております。

◎松本 繁 3,000 円



第2回目のボランティアに参加された皆様、大変お疲れ様でした。熊本東南RCの名を高めていただき大変誇りに思います。感謝してスマイル致します。

◎彌富照皇 3,000 円



武末さんのご見学を歓迎致します。そして本日の卓話は楽しみにしています。

◎小畑成司 2,000 円



武末さんのご入会おめでとうございます(少し早いですが)。橋口さんのご入会お待ちしております。それと、先日は坂本町ボランティアお疲れ様でした。家財道具の運び出し活動でしたが、家主の方々より喜んでいただき本当によかったです。それと誰一人事故、ケガなく終了でき大変よかったですと思います。

◎松岡歩紗実 2,000 円



玉名中央RC倉田様、茅畑様、米山奨学生 劉宸江君の来訪を歓迎してスマイルいたします。倉田さんは大学時代のサークルの先輩で、私の黒歴史を知る貴重な方です。

■今後の行事

| | | | | |
|-----|----------|-------------------------|------------|--------|
| 11月 | 11月8(月) | 社会奉仕・国際奉仕・公共イメージ合同セミナー | 熊本県 熊本市 | 熊本城ホール |
| | | 松本一也、福井学、前田日出夫、彌富照皇、白石繁 | | |
| 11月 | 11月21(土) | 職業奉仕セミナー | 熊本県 熊本市 | 熊本城ホール |
| | | 古田哲朗、草村安宏、宮川義行 | | |

■卓話



米山記念奨学生
卓話 劉宸江



皆さんこんにちは、ロータリー米山奨学生 玉名中央クラブ 熊本大学博士3年の劉宸江(リュウ シン コウ)です。卓話発表を呼ばせいただきありがとうございます。今回発表のテーマは 今まで私自身の経歴を振り返りながら、コンフォートゾーンを飛び出すことは私の生活に如何に影響するかをご紹介します。まず初めに、コンフォートゾーンについて簡単にご説明させていただきます。コンフォートゾーンは文字通り「居心地のいい場所」という意味です。人はもちろんすべての生き物に対してよく慣れているところにいる傾向があります。よく慣れている環境で生きていくことは、生き物に対して一番生存のリスクが低い選択肢です。しかし、現代社会で生きている私たちは、よくこの認知慣性(認知慣性)に足を引っ張られ、なかなか新しい環境に手を出しにくい。確かに、コンフォートゾーン以外の世界は予想外の危機が多くありますが、自分の人生を変えるチャンスも潜伏しています。ジェニファー・アニストンさんはこれに対して、この世界で欲しいものは全て自分のコンフォートゾーンの外にあると語りました。まず、自分が生まれた街をご紹介します。私は中国山西省の大同市で生まれました。地図に示したように、大同市は内陸の街で、内モンゴル、モンゴルに近い。北京にも近いですが、山の中にあるので、北京に行くのに6時間半かかります。大同市は緯度がわりと高いので、通年の平均気温が低いです。冬になると平均-15℃は普通で、夏もそんなに暑くないです。自然資源がとても豊かで、特に石炭は全国有名です。観光スポットについては世界遺産の雲崗石窟(うんこうせつくつ)以外に、

万里の長城の一部、華嚴寺（けごんじ）、九龍壁（きゅうりゅうへき）、懸空寺（けんくうじ）などあります。

大同市は341万人が有して、面積は1万4000平方キロ、福岡県の大牟田市と友好都市を組んでいます。

私はこのような町で生まれ、子どもの頃から外の世界に対して強い好奇心が持っていました。家族旅行に連れて県外に観光するには、子ども時代の私に対して一番期待することです。

生物学と薬学に大変興味があるため、大学志望表15欄のうち14個薬学・生物相関分野に志望しました。結局、電車で7時間ぐらいかかる保定市（ほていし）に行きました。

大学はそこまで有名じゃない学校なので、就職の心配がありました。とりあえず出来る限り専門知識を身につければいいと思い、自分の専門はもちろん、時間があれば、関連分野の授業も聞きに行きました。大学卒業後、同級生はほぼ地元で専門と関係のない仕事をして、私は薬学系の仕事について非常に興味深いため、製薬会社が多く集める北京に就職活動を始めました。

就職活動ではいろいろ探していましたが、やはり学歴が足りなく、なかなか研究職には通れなかった。周りから「実家を帰って何かの仕事を探したほうがいいよ」のような声もだんだん増えてきて、自分も動揺し始めました。「最後の1ヶ月でチャレンジしたい、できなかつたら帰る」と自分と約束して、努力した結果、製薬会社（アメリカ本社の北京支社）の内定をいただきました。

北京は東京と同じく通勤の時間帯が結構しんどいですが、私も大勢の人の一員になりました。

研究員という仕事はバツと見、カッコいいですが、実際はその中にほんとに最先端のものを研究する人とただの手作業をする人などに分類しています。その決まりは学歴と研究歴です。しかも、薬学において修士や博士がたくさん集まっている業界なので、大卒のほとんどの人は手作業に流されます。

良いことに、実験作業は待ち時間が多い一方、外資系の企業でそこまで厳しくないため、自分がコントロール出来る時間が多い。実験自体はうまくいく限り、本を読んでも全然かまいませんでした。私は隙間の時間を利用し専門知識を勉強し始めました。

さらに、上司の許可をもらい、仕事に影響がない限り、隙間の時間で社内の他の技術を学びに行きました。その努力のおかげで、担当できる仕事が多くなり、その後の部門の変動にも影響を受けてなかったです。日本語の勉強もこの時期から始めました。当時は1日の通勤時間が往復3時間ぐらいかかり、その時間を利用して缶詰の電車の中で日本語を勉強する様子は今でも鮮明に覚えています。

会社に三年間働いて、単純な手作業に満足せず、やはり、自分が主役として研究を立案して薬を開発したいと思い、創薬研究が世界的にトップクラスの日本に留学することを決めました。当時は周りに日本へ行ったことがある人が一人もいなく、親友から不安の声が多くありました。頑張って両親を説得し、留学することができました。

日本の薬学部基本的に大学3年から、研究室に配属し、3年生の後半から研究テーマをもらい、実験をはじめます。私は大学院から入り、研究のスタートが同級生より少なくとも1年半ぐらい少なかった。さらに努力しないと行かないと思い、実験始まりの1ヶ月後、ある日夜9時すぎ、実験中で地震が起きました。人生初の地震体験でかなり不安でした。地震の直後、研究室の危険な試薬と測定機器を確保し、体育館にてボランティア活動を始めました。

私は最初、研究はすべてだと思っていたが、ボランティア活動を通じて多くの住民に手伝い、研究者は研究知識と技術を磨く一方、

社会への貢献も非常に重要だと感じました。

地震のボランティアをはじめ、私は様々な活動に参加することで世界各地からの医学、薬学、経済学分野等で活躍している優秀な学生とコミュニケーションをとり、医療関係者との人脈も作ることができました。

更に、研究が忙しいでも多くの社会活動を参加しました。社会活動を通じて、自分のプレゼン力を磨くことができ、研究成果の発表にも活用しました。

また、研究上では、たくさんの壁がぶつかりましたが、努力のおかげで画期的な成果がありました。せっかくの機会なので、軽く自分の研究内容をご紹介します。

私は癌の治療薬の一種類である抗体医薬品の研究を行っています。現在市販されている抗体医薬品の多くは、哺乳類動物の細胞を用いて生産するため、動物や細胞の培養は膨大な費用がかかります。さらに複雑な構造を持ち、最適な薬を開発するのは長い時間がかかります。また、従来の抗体医薬品はどの特性により副作用が高いなどの問題が挙げられています。

そして、これらの問題点に対して、私は従来の抗体医薬品の有効部分だけを、遺伝子改変した菌を用いて生産することが成功しました。新しく提案した抗体は従来の抗体より細工しやすい、副作用が低い、菌を用いて生産するためコストも大幅に抑えられます。また、現在、癌の治療において血液ガンなどに対して特効薬が多く存在する一方、ほとんどの固形癌に対して、手術しないといけません。

その理由の一つは固形がんの外側に壁が存在するため、従来の抗体医薬品は患部に届けにくいです。そして、この問題点に対して、私たちが提案した新型抗体医薬品はサイズがとても小さいため、固形癌の壁を通りやすくなっています。

私の研究をさらに進めば、今まで手術でしか取れない固形癌は薬で治るが期待できます。

私は以上の研究を3報の論文をまとめ、博士の2年間九つの学会を参加しました。

更に、運がよく、三つの賞を受賞しました。

更に卒業後は大塚製薬において、研究職をつとめ、癌の治療薬を引き続き研究を行います。

将来の計画については、私は多くの貧しい地域の人々に治療効果と安定性が高い医薬品を安価に提供できるよう、10年間は次世代創薬研究に日々努力したいと思います。そして10年後、日本から生まれた新薬を世界の多くの患者さんに届けるように、自分の専門技術、語学力、人脈を活かし、薬の国際連携事業の分野で活躍していると思います。

さらに、20年後はそれまで蓄積した経験を活し、多国籍チームを組み、会社から誕生した新薬を世界の国々の患者さんに届けるように国際事業を展開したいと思っています。

私はこれらの成果を達成できるのは、まず、常に自分の現状を見直し、コンフォートゾーンから飛び出す動き、また、私の成長の途上で、皆様のような評価していただく方々のご支援も不可欠です。

最後になりますが、皆様のご支援とご指導を深く感謝いたします。ありがとうございました。

■点鐘

編集者 沼田敏雄